

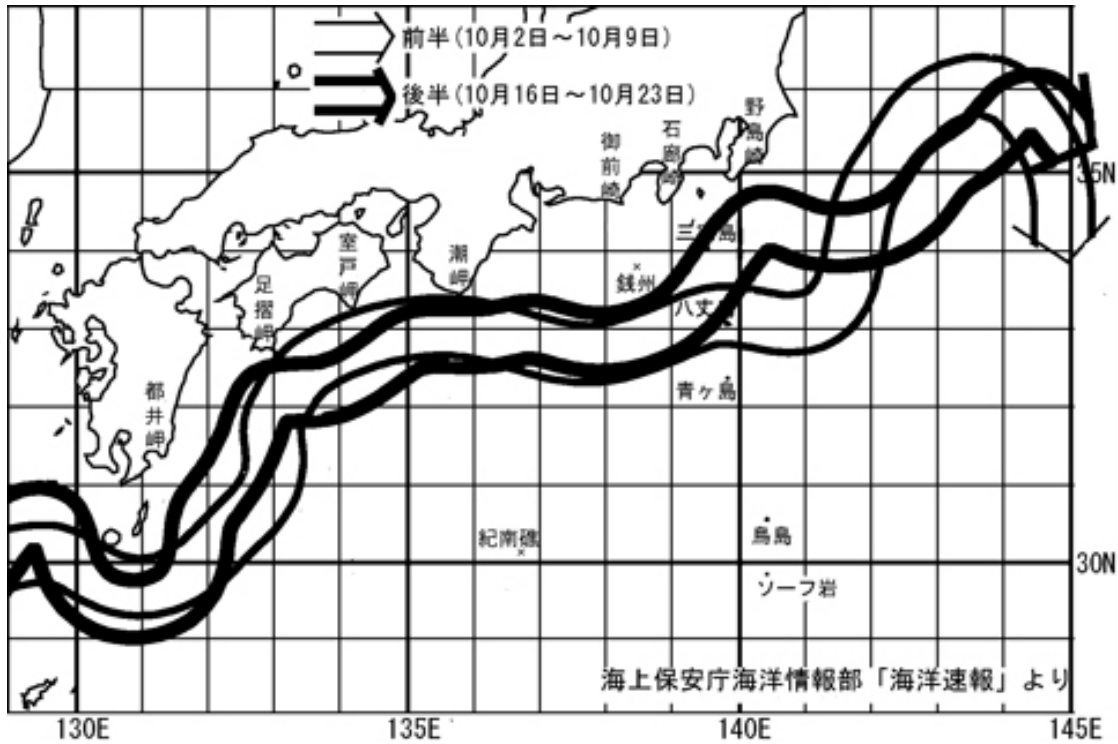
漁海況月報

平成19年10月1日

No. 10 ~10月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産技術研究所伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	22.5	22.6	22.4	22.5	23.0	23.3	22.2
	0.3	-0.5	-0.6	-1.0	0.0	0.8	-0.2
中旬	21.1	21.2	20.4	21.5	22.1	22.2	20.6
	-0.5	-1.2	-1.8	-1.4	-0.4	0.5	-0.7
下旬	19.9	20.7	20.4	21.0	21.0	21.1	19.5
	-0.7	-0.9	-0.9	-1.0	-0.3	0.2	-0.5
月	21.1	21.5	21.1	21.7	22.0	22.1	20.7
	-0.3	-0.9	-1.0	-1.1	-0.2	0.5	-0.5

【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州東岸で離岸したが足摺岬から潮岬にかけて接岸し、潮岬から東南東に流れた。その後、御前崎沖 32° 40' N 付近から八丈島直近を通り 142° E 付近を北上した。月後半の黒潮は、九州東岸でやや離岸したが足摺岬から潮岬にかけて接岸し、潮岬から東に流れた。その後、御前崎沖 32° 40' N 付近から八丈島の北を通り野島崎で接岸した後、東へ流去した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 20~22°C 台、駿河湾東部では 20~23°C、駿河湾西部では 19~23°C 台で経過した。

月前半には、熊野灘から遠州灘にかけて 25°C 台の暖水がみられたが、月後半には弱まった。同じく月前半には、伊豆諸島北部に 21°C 台の冷水域がみられたが、月後半に黒潮が房総半島に接岸するのに伴って消滅した。

これら暖水、冷水域とも本県沿岸に顕著に影響することはなかったため、上旬の焼津、中旬の下田を除き各地ともやや低めから平年並みの水温で経過した。

【竿釣近海カツオ】

10月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は19トで前年同期の106%であった。魚価は440円/kgで、前年同期の133%であった。

静岡県船は 34~39° N 139~145° E で小、中、大、極小カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量（県内主要5港）

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
19年 10月計	0	0	0.0	0
	6	1	6.1	182
	13	6	2.1	575
19年 10月計	19	7	2.7	440
18年 10月計	18	9	2.0	332
17年 10月計	25	15	1.7	223

【定置網】

平成19年10月、伊豆半島東岸大型定置網8か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は843トで、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量120.4トは前年20.1ト（7漁場）の599%、平年値（昭和57~平成18年）39.1トの308%であった。

魚種別水揚量は、①サバ類376.1ト（A：前年同月比2324%、B：平年同月比532%）②マルソウダ112.0ト（A：1323%、B：284%）③ヤマトカマス93.9ト（A：1631%、B：667%）④サバッコ48.2ト（A：前年は0、B：995%）⑤イサキ44.2ト（A：162%、B：306%）の順であった。

サバ類はゴマサバ中心で昭和57年以降で最も多く水揚げされ、川奈、北川、赤沢、富戸を中心に入網し、尾叉長のモードは26cm、31cmにみられた。マルソウダは昭和57年以降で最も多く水揚げされ、古網、川奈、富戸を中心に入網し、尾叉長のモードは25cmにみられた。ただし、市場でマルソウダと分類されたものの中にもヒラソウダが多く含まれ、その尾叉長の中心は30~32cmであった。ヤマトカマスは昭和57年以降で最も多く水揚げされ、北川、古網を中心に入網し、尾叉長のモード

は26cmであった。サバッコは川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは測定できた限りではサバ類と同様の26cmにみられた。イサキは赤沢、川奈、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは16cmであった。また、ワカシはイナダサイズを多く含むと考えられるものの、29.4トンと昭和57年以降で最も多く水揚げされ、尾叉長のモードは35cmであり、スルメイカも10.7トンと昭和57年以降で最も多く水揚げされ、外套背長のモードは24cmであった。

漁場別水揚量は、川奈247トン（サバ類、サバッコ、マルソウダ中心）、北川167トン（サバ類、ヤマトカマス中心）、古網139トン（マルソウダ、ヤマトカマス、ワカシ中心）の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

小川港には棒受網によって前月（576トン）をやや上回るゴマサバ633トンが水揚げされた。漁場は三本周辺海域に形成された。水揚げされたゴマサバは、9月中旬以降、本格的な加入がみられた尾叉長25～26cmにモードをもつものと30～31cmにモードをもつ2峰型の組成であった。ゴマサバの1kg当たりの平均単価は63円で、前年同月（49円/kg）および極端な安値となった前前年同月（38円/kg）を上回った。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(ト)	日数	延隻数	1隻当り(ト)	漁 場
平成19年 上旬	201	3	6	33.6	三本、三宅
10月 中旬	155	3	6	25.8	三本
下旬	277	4	8	34.6	三本
計	633	10	20	31.7	-----
平成18年10月	323	11	22	14.7	三宅、三本
平成17年10月	321	5	13	24.7	銭洲、高瀬、三宅

水揚量は各旬で四捨五入しているため、計と一致しない

【シラス船曳網】

1日1か統当りの漁獲量は、駿河湾では282kg、遠州灘では242kgで、主要6港平均では254kgと前年同期(359kg)の71%、平年同期(過去5か年平均:285kg)の89%と、前年及び平年を下回った。総水揚量は688.1トンで前年同期(942.9トン)の73%、平年同期(689.5トン)並であった。平均単価は771円/kgと平年同期(910円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統・日)	平均単価(円/kg)
新 居	47.8	20	248	193	673
舞 阪	186.3	18	733	254	722
福 田	149.5	18	480	311	675
御前崎	74.7	22	429	174	808
吉 田	119.2	19	494	241	740
静 岡	110.6	15	320	346	1,034
平成19年10月計	688.1	94	2,704	254	771
平成18年10月計	942.9	105	2,628	359	720
平成17年10月計	815.4	85	2,024	403	545

【まき網】

小川港ではマイワシの水揚げが44.6トンと平年同期(148.9トン)を大きく下回った。沼津港ではマイワシが7.0トンと平年同期(250.8トン)を大きく下回り、カタクチイワシの水揚げはなかった(平年同期1.2トン)。静岡港ではマイワシの水揚げは0.1トン(平年同期8.7トン)で、カタクチイワシの水揚げはなかった(平年同期14.1トン)。

注) 平年同期: 過去5か年(2002～2006年)平均

【調査船の動向】

富 士 丸

10月10日	～	10月10日	ドックへ回航	(1日間)
10月23日	～	10月23日	ドックから回航	(1日間)

駿 河 丸

10月3日	～	10月3日	ドックから回航	(1日間)
10月4日	～	10月5日	サクラエビ調査(駿河湾)	(2日間)
10月9日	～	10月10日	地先定線観測(駿河湾、遠州灘)	(2日間)
10月12日	～	10月12日	マリンロボ調査(駿河湾)	(1日間)
10月15日	～	10月15日	公共用水域水質調査(駿河湾)	(1日間)
10月16日	～	10月16日	地先定線観測(駿河湾)	(1日間)
10月18日	～	10月19日	サクラエビ産卵調査(駿河湾)	(2日間)
10月22日	～	10月23日	サバ調査(三宅島周辺)	(2日間)
10月24日	～	10月24日	シラス調査(駿河湾)	(1日間)
10月30日	～	10月31日	マリンロボ調査(駿河湾、相模湾)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/imode/index.htm>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAによる海面の水温分布画像を見ることができます。



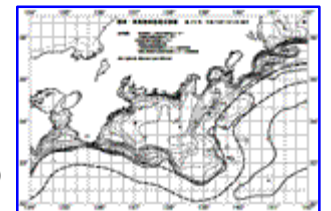
おしらせ

水産技術研究所のホームページでは、高精度で広範囲の海の様子がわかる

「高精度海況図」の提供を始めました。

現在は試行期間のため、更新の遅れなどが生じた場合はご了承ください。

正式発行は平成20年4月からを予定しています。



ご意見、ご要望などありましたら、下記までお知らせ下さい

水産技術研究所 054-627-1817(資源海洋研究室、普及室)

メールアドレス suishi@shizuokanet.ne.jp